

(書式1)【候補者用】

① 立候補者の 姓名と所属	島田洋子 京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻
② 立候補の理由と 抱負 (400字程度)	近年、社会を取り巻くリスクは多様化・複雑化し、かつ、リスク専門知の社会実装が求められていますが多額の課題があります。私が特に重要だと考えている課題は、リスクコミュニケーションにおけるメディアと行政の役割です。福島第一原子力発電所事故では、メディアが専門家を通して提供するリスクの情報や専門知が正確ではなかった事例があり、市民への情報発信を担う行政担当者からはリスクに関する知識や情報をどこから得るべきかわからないという声を多く聞きました。本学会が2019年に刊行した「リスク学事典」は広く社会に多様なリスク専門知の提供を可能にしましたが、さらに、本学会に集うリスクの専門家による情報源情報を、市民だけでなくメディアや行政の担当者へ提供できるプラットフォームの整備をすることで、本学会がメディアと行政のリスクリテラシー向上に貢献することができるのではないかと、そのお手伝いをぜひしたい、との思いから、今回、理事に立候補させていただきます。
② 本学会における 活動歴	<ul style="list-style-type: none"> ・2001年からリスク学会会員 ・年次大会実行委員 (2014年、2022年) ・リスク学事典 (2019、丸善出版) 編集委員 ・日本リスク学会選挙管理委員会委員 (2014年、2016年) ・日本リスク学会誌編集委員会委員 (2014年～) ・日本リスク学会誌へ論文1報を掲載 (2012年) ・年次大会での発表7回 (1996、2000、2010、2011、2012、2022、2023年)
④ 研究歴・職歴等 (100字以内)	<p>1992年4月～1993年1月 日商岩井(株)</p> <p>1999年4月～2001年3月 京都大学大学院工学研究科助手</p> <p>2001年4月～2004年3月 神戸市環境保健研究所職員</p> <p>2004年4月～2013年2月 摂南大学理工学部准教授</p> <p>2013年3月～ 京都大学大学院工学研究科准教授</p>

(書式2)【推薦者用】

① 推薦する候補者 名	島田 洋子氏
② 推薦者の 姓名と所属	小野恭子・産業技術総合研究所
③ 推薦理由 (400字程度)	島田氏は放射能汚染、室内大気汚染など、環境汚染物質による健康リスク評価に取り組んでおられる研究者である。フィールド調査による実データの収集、実験、数値シミュレーションを組み合わせたリスク評価の実践において、社会科学的、および工学的なアプローチの両方に深い知見を持ち合わせており、学際

性の高い本学会でも、学会誌における論文発表、年次大会における口頭発表の実績がある。また、学会運営では、年次大会実行委員、選挙管理委員、編集委員のほか、リスク学事典の編集委員としても活躍してこられ、本学会を研究面のみならず運営面においても牽引する重要な役割を担ってこられた。以上のことから、本学会をリードする人材として大いに期待される島田洋子氏を、理事候補者の一人として強く推薦する。